

食品等の苦情品検査(その2)

平成18年度下半期に、区福祉保健センターに届けられた食品等に関する苦情品の中で、原因究明のために当所へ搬入された検体は、44件78検体でした。苦情の内容は様々ですが、異物混入が多くみられました。理化学検査を中心に行ったうち主な検体の検査結果は次のとおりです。

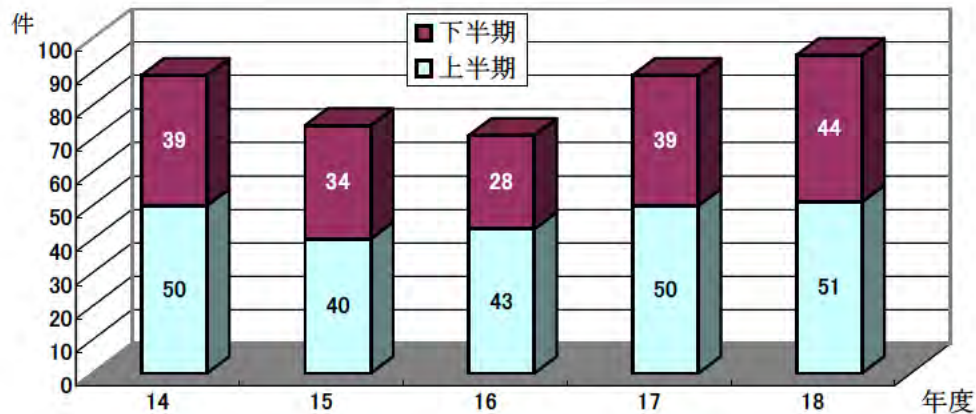












図 苦情品検査受付件数の推移

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
かやくうどん	ビニール片が入っていた。 	外観 赤外KBr法 結果	大きさ30×20mm、重さ21mg。無色透明のフィルム様の物質。 セルロースと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 セルロースフィルム(セロハン)の破片と推定された。その後の調査でリテナー成形かまぼこの外装に用いられたフィルムと判明した。
無着色たらこ	表面に毛らしきものが付いていた。 	外観 鏡検 結果	長さ35mm、太さ0.3mm、黒色の糸状の繊維。 一端はたらこの皮にしっかりと付着していた。糸状のものは、黒い斑点のある透明で筒状の形態をしていた。毛の特徴である毛表皮紋理(キューティクル)は認められなかった。 たらこの血管の一部と推定された。
フルーツ白玉の缶詰	小さな金属片が入っていた。 	外観 顕微鏡 マイクロナライザー 結果	大きさ9×0.3mm、8×0.4mm、各重さ1.2mg、1.1mg。 銀色の針金様の物質。 片面は金属光沢のある滑らかな銀色であり、反対面は削りとられたような凸凹した銀色であった。 滑らかな面は鉄の元素を、凸凹した面は鉄およびスズの元素を認めた。 缶詰の切かすと推定された。

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
胚芽ご飯	ガラスの様なものが出てきた。 	外観 顕微鏡 赤外KBr法 結果	大きさ5×4×1mm、重さ43mg。透明なガラス様の固まり。 透明で、縁の部分は削られて角がなく、表面は多数の細かな削られた傷を認めた。 ガラスと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 ガラスの破片と推定された。ガラスの縁の部分や表面に細かな多数の削られた跡が認められた。(精米機などにより削られた。可能性がみられた。)
ビーフカレー	白い硬い固まりが出てきた。 	外観 燃焼試験 赤外KBr法 結果	長さ18mm、幅5mm、厚さ1mm、重さ74mg。片側に反った形状の淡黄色の薄片。 加熱すると、たんぱくを焼いた臭いを発して黒くなり、さらに加熱すると白色の灰分が残った。 異物および灰化したものは、骨および骨を灰化したものの赤外吸収スペクトルと類似していた。 骨の破片と推定された。
生クリームワッフル	毛の様なものがワッフルに付着していた。 	外観 顕微鏡 光学透過顕微鏡 走査型電子顕微鏡 結果	長さ40mm、太さ0.08～0.1mm、褐色の毛の一部がワッフル内に埋もれていた。 毛先から26mmがワッフル内に埋もれており、毛根から14mmが外に出ていた。 表面に細かな小皮紋理(キューティクル)を認めた。毛髄は細く、毛幅の1/5程度で、部分的に髄のない部分がみられた。 細かな横行波状の小皮紋理を認めた。断面は不正三角形を呈しており、毛髄は細かった。 人の毛と推定された。
豚肉のピーナツがらめ	金属片が出てきた。 	外観 磁性 顕微鏡 マイクロアナライザー 結果	幅0.50mm、厚さ0.025mm、銀色で幅が一定の3片の金属片。全体にカーブがみられた。 磁性を有する。 縦に走るスジがみられた。 鉄、クロム、ニッケルの元素を認めた。 鉄、クロム、ニッケルからなるステンレス製品と推定された。
ボトルドウォーター	数ミリ大の黒い異物を認めた。 	外観 沈殿物 結果(医動物での同定)	ペットボトル内に数ミリ大の黒い異物を認めた。 ペットボトル内に数ミリ大の黒い異物を認めた。 ヤマアリ亜科の有翅虫(雄成虫)と推定された。

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
コロッケ	<p>ガラスまたはプラスチック片と思われる固まりがでてきた。</p> 	<p>外観</p> <p>顕微鏡</p> <p>赤外KBr法結果</p>	<p>大きさ3×1.5mm、重さ14mg。無色透明のガラス様の固まり。</p> <p>鋭利な角のない、透明度の良い固まりであった。</p> <p>石英と同様な赤外吸収スペクトルを認めた。石英の破片と推定された。</p>
味噌汁	<p>食べていたら金属片が入っていた。</p> 	<p>外観</p> <p>溶解性</p> <p>磁性</p> <p>顕微鏡</p> <p>マイクロアナライザー</p> <p>結果</p>	<p>長さ約3.5mm、幅1.3mm、厚さ約1mm、重さ22mg。一部が銀色で、全体として銅色の固まり。</p> <p>硝酸に溶け、青色の溶液になった。</p> <p>磁性を認めない。</p> <p>銅色の金属様の固まりで、一部に銀色の皮膜が見られた。</p> <p>色部分は銅の元素を、銀色部分はニッケルとクロムの元素を認めた。</p> <p>銅にニッケルとクロムをメッキしたものの破片と推定された。</p>
肉じゃが	<p>異物感がして、吐き出したところ、異物を認めた。</p> 	<p>外観</p> <p>磁性</p> <p>顕微鏡</p> <p>マイクロアナライザー</p> <p>結果</p>	<p>長さ14mm、太さ0.30mm、重さ7.7mg。くすんだ灰色の針金様のもの。</p> <p>磁性を認める。</p> <p>均一の太さの金属で、断面は丸く、垂直に切断されていた。</p> <p>表面は亜鉛、内部は鉄の元素を認めた。</p> <p>針金の断片と推定された。</p>
焼き魚	<p>金属がでてきた。歯茎に刺さった。</p> 	<p>外観</p> <p>鏡検</p> <p>マイクロアナライザー</p> <p>結果</p>	<p>大きさ2×1mm、3×1mm、各重さ0.8mg、1.8mg。鉛色の金属様の固まり。</p> <p>片面は滑らかで、金属光沢をしており、反対面は鉛色で凹凸がみられた。</p> <p>アルミニウムの元素を認めた。</p> <p>金属アルミニウムの破片と推定された。</p>
生揚げと野菜のそぼろ煮	<p>食べていたら、口の中から金属が出てきた。</p> 	<p>外観</p> <p>磁性</p> <p>顕微鏡</p> <p>マイクロアナライザー</p> <p>対照品(金属たわし)</p> <p>結果</p>	<p>長さ15mm、幅0.5mm、厚さ0.02mm、重さ2.5mg。銀色のテープ状の金属片。</p> <p>わずかに磁性を認めた。</p> <p>表面に縦に走るスジがみられた。幅の一定で、両端が切れた金属片。</p> <p>鉄、ニッケル、クロムの元素を認めた。</p> <p>幅0.5mm、厚さ0.02mmの銀色のテープ状の金属。磁性を強く認めた。鉄とクロムの元素を認めた。</p> <p>ステンレス(鉄、ニッケル、クロム組成)の破片と推定された。対照品と組成が異なる。</p>

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
ご飯	<p>ネズミの糞のようなものが3～4個、ご飯の中に入っていた。</p> 	<p>外観</p> <p>マイクロスコープ</p> <p>光学透過顕微鏡</p> <p>走査型電子顕微鏡</p> <p>結果</p>	<p>大きさ8×3×3mm、重さ32mg。黒色の俵状の固まり。</p> <p>水に浸し、崩した異物を観察したところ、毛、植物片、繊維などを認めた。</p> <p>ネズミの毛に類似した毛を認めた。</p> <p>ネズミの毛と同様な小皮紋理を認めた。</p> <p>ネズミの糞と推定された。</p>
給食	<p>黒い固まりが出てきた。</p> 	<p>外観</p> <p>溶解性</p> <p>燃焼性</p> <p>マイクロスコープ</p> <p>赤外分光分析</p> <p>結果</p>	<p>大きさ8×4mm、厚さ2mm、重さ32mg。黒色の四角形の固まり。</p> <p>クロロホルムに溶ける。</p> <p>加熱すると溶け、黒煙を発生し燃え、スチレン臭がした。</p> <p>一部に欠けた面を認めた。側面は細かな凹凸処理が施されている。</p> <p>ポリスチレンを含む、アルキド樹脂の赤外吸収スペクトルに類似していた。</p> <p>ポリスチレン等のプラスチックの破片と推定された。</p>
惣菜	<p>小さな金属の固まりが入っていた。</p> 	<p>外観</p> <p>磁性</p> <p>マイクロスコープ</p> <p>マイクロアナライザー</p> <p>結果</p>	<p>大きさ1.2×0.8mm、重さ1.1mg。不定形の銀色の金属片。</p> <p>磁性を認めた。</p> <p>削られたような跡を認めた。</p> <p>鉄、ニッケル、クロムの元素を認めた。</p> <p>ステンレスの破片と推定された。</p>
チャーハン弁当	<p>毛のようなものが入っていた。</p> 	<p>外観</p> <p>赤外分光分析</p> <p>対照品</p> <p>結果</p>	<p>長さ55mm、太さ0.10mm、無色透明の繊維状の物質。</p> <p>ポリビニルアセテート(酢酸ビニル)に類似した赤外吸収スペクトルを認めた。</p> <p>弁当の裏底の接着剤：ポリビニルアセテート(酢酸ビニル)。</p> <p>酢酸ビニル樹脂の繊維状のものと推定された。弁当の裏底の接着剤と類似していた。</p>
ハンバーグ	<p>白い異物がハンバーグに入っていた。</p> 	<p>外観</p> <p>マイクロスコープ</p> <p>赤外分光分析</p> <p>結果</p>	<p>1×3mm～4×7mm、厚さ0.05mm。白色で不定形の薄片。1個はハンバーグの表面から、4個は内部から認められた。</p> <p>いずれの薄片は縁がギザギサした状態に切断されていた。</p> <p>ポリプロピレンに類似した赤外吸収スペクトルを認めた。</p> <p>ポリプロピレンのシートと推定された。対照品の脱水シート(穴の開いた薄いシート)に類似していた。</p>

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
いくら・かに ちらし鮓	髪の毛の様なものが入っていた。  	外観 鏡検 赤外分光分析 結果	長さ61mm、太さ0.11mm、白色の毛様の物質。 長さ5.6～22mm、太さ0.10～0.16mm、数本の白色の毛髪様の物質。 片方の端に毛根が認められ、他方の先端は切断されていた。人毛に似た小皮紋理と髓を認めた。 透明で縦にスジが通っており、両端はちぎられた様になっていた。 異物及び異物を焼いたものは、当所で用意したカニの軟骨及び軟骨を焼いたものと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 長い異物は毛髪と推定された。 短い異物はカニの軟骨と推定された。
学校給食	プラスチックのフィルムが入っていた。 	外観 赤外分光分析 結果	長さ72mm、幅3～10mm、厚さ0.07mm、重さ53mg。透明なフィルム。一部、熱により、融けて収縮していた。 ポリエチレンと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 ポリエチレン樹脂製のフィルム片と推定された。
中華まんじゅう	極小さな金属片が付着していた。 	外観 顕微鏡 マイクロアナライザー 結果	まんじゅうの表面に、大きさ0.1～0.3mmの銀色の金属様の小片を7個認めた。 削りとられた面を認めた。 アルミニウムの元素を認めた。 アルミニウム片と推定された。
生姜焼弁当	硬い固まりが入っていた。 	外観 磁性 顕微鏡 マイクロアナライザー 結果	大きさ5mm×4mm×2mm、重さ0.2g。片面は銀色、反対面は黒いの金属様の硬い固まり。 磁性を認めない。 表面に細かなスジが多数平行にはしり、人工加工部分が認められた。 銀とスズの元素を認めた。 形状、組成より、歯の詰物と推定された。
中華風はるさめサラダ	ガラスのかけらが入っていた。 	外観 鏡検 赤外分光分析 結果	大きさ9mm×5mm、7mm×4mm、8mm×4mm、厚さすべて0.8mm、各重さ55mg、38mg、25mg。3片の無色透明で、不定形なガラス様の物質。 3片の割れた面は合わせり、一つとなった。 ガラスと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 ガラス片と推定された。
きつねうどん	糸状の異物が混入していた。 	外観 顕微鏡 赤外分光分析 結果	長さ36mm、太さ0.34mm、重さ2.3mg。緑色のプラスチック様の繊維。 波状をした太さがほぼ一定な繊維。 ポリプロピレンと同様な赤外吸収スペクトルを認めた。 ポリプロピレン製の繊維と推定された。

品名	事故・苦情理由	試験項目	試験結果
食パン	トーストして食べようとしたら緑色した固まりが出てきた。 	外観 溶解性 顕微鏡 ヨウ素デンプン反応 結果	大きさ10×10×5mm、重さ0.21g。食パン中に不定形で一部緑色した透明で白色の固まりを認められた。 固まりは水で白く懸濁し、多数の緑色の薄片および2個の茶色の小さな固まりを認められた。 緑色の薄片は当所で用意したアオリと形態的に類似していた。また、茶色の固まりはゴマに類似していた。 透明で白色部はヨウ素溶液で黒変した。 小麦粉にゴマとアオリが入った固まりと推定された。
牛の皮下脂肪	小さな鉄さび様の塊を多数認められた。 	外観 顕微鏡 溶解性 鉄の定性反応 マイクロアナライザー 結果	大きさ1mm以下～3×2mm、重さ2mg以下。皮下脂肪上に多数の褐色から黒色の固まりを認める。 最も大きな固まりの片面は黒色で凸凹があり、反対面は赤褐色で一部に平面状の部分があった。 10%塩酸で発泡して溶けた。 チオシアン酸アンモニウムで赤色を呈する。 鉄、酸素および炭素の元素を認められた。 鉄さびと推定された。
ひじき煮	プラスチックの繊維様のものが出てきた。 	外観 赤外分光分析 結果	2本の青色のプラスチック様の繊維。両方とも長さ21mm、太さ0.2mm。 ポリエチレンと同様な赤外吸収スペクトルを認められた。 ポリエチレン製の繊維と推定された。
煮物	金属片が食品から出てきた。 	外観 磁性 顕微鏡 マイクロアナライザー 結果	長さ29mm、幅0.2～0.5mm、重さ2.5mg。銀色のテープ状の物質。 磁性を認める。 片面は平面で他面走るスジを3～4本認め、反対面は凹凸を認める。縁にギザギザを認める。 鉄、クロム、ニッケルの元素を認める。 ステンレス製品のバリと推定された。
焼きうどん	プラスチックの様な硬い固まりが入っていた。 	外観 光学透過顕微鏡 赤外分光分析 ヨウ素デンプン反応 結果	大きさ15mm×5mm×3mm、重さ0.18g。あめ色の不定形の硬い固まり。 小麦と同様なデンプン粒を認められた。 小麦と同様な赤外吸収スペクトルを認められた。 陽性。 小麦粉の固まり(うどんの乾燥したもの)と推定された。

【 食品添加物担当 】